

上演資料集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	和田合戦女 = (舞+丞) 轟	評判記			古今評判 儀多百轟 貞		①安永6年6月 ③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃(昭和50年10月・三一書房・藝能史研究会=編)等に所収
	* 麓大夫(初世豊竹) * 志賀大夫(竹本)	評判記			義太夫執心録		③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃(昭和50年10月・三一書房・藝能史研究会=編)等に所収
290	劇評切抜き * 明治24年2月御霊文楽座評	劇評			国立劇場上演資料集	290	①平成1年9月 ④国立劇場 ③明治24年2月御霊文楽座所演(短評)。「大阪朝日新聞」より転載
	第四 語法の事 * 語方の種々	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9月野村青雲堂より第4版発行。チャリ
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	9	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢書刊行会=編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5 義太夫秘訣、浄瑠璃素人講釈		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
	和田合戦女舞鶴 * 尼君館の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲百段 語り物の 訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
290	劇評切抜き * 明治39年6月堀江座評	劇評	金太楼		国立劇場上演資料集	290	①平成1年9月 ④国立劇場 ③明治39年6月堀江座所演。「大阪朝日新聞」より転載
290	堀江座見物素人評	劇評	中村商海史・中村柳雨子		浪花名物 浄瑠璃雑誌	第50号	①明治39年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治39年6月堀江座所演
290	劇評切抜き * 明治40年1月御霊文楽座評	劇評	金太楼		国立劇場上演資料集	290	①平成1年9月 ④国立劇場 ③明治40年1月御霊文楽座所演。「大阪朝日新聞」より転載
290	* 明治45年6月近松座評						③明治45年6月近松座所演。「大阪毎日新聞」より転載
290							③明治45年6月近松座所演。「大阪朝日新聞」より転載
	第二種 和田合戦女舞鶴 市若初陣の段	梗概批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会 ③大正2年7月増補訂正再版

上演資料集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
290	御霊文楽座（大正3年10月30日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正3年11月御霊文楽座所演。「大阪毎日新聞」より転載
290	劇評切抜き * 大正11年1月御霊文楽座評	劇評			国立劇場上演資料集	290	①平成1年9月 ④国立劇場 ③大正11年1月御霊文楽座所演。「大阪毎日新聞」より転載
290	和田合戦女舞鶴 三段目切 市若切腹の段	演出	胴摺帽人（其日庵）		黒白	60号	①大正11年3月 ④黒白発行所
			杉山其日庵		浄瑠璃素人講釈		①大正15年11月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
			杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	（上）	①平成16年10月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈付載
	和田合戦女舞鶴 三段目切 市若切腹の段	演出	杉山茂丸（其日庵）		黒白	125号	①昭和3年3月 ④黒白発行所
			杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	（下）	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
290	文楽座三月興行	劇評			浪花名物 浄瑠璃雑誌	第331号	①昭和9年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和9年3月四ツ橋文楽座所演
	人形三人遣ひの源流 * 人形の大さ（ママ）	研究	石割松太郎		近世演劇雑考		①昭和9年9月 ④岡倉書房 ③板額の人形の大さ
	九、文楽座へ復帰 * 板額の代役	芸談	鴻池幸武＝編	(1) 吉田栄三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再版。 明治40年1月御霊文楽座所演
	十、松竹さんになってから * 投げ頭巾						③大正11年1月御霊文楽座所演
	和田合戦女舞鶴 尼君館の段に就て	鑑賞	大藪大州		浪花名物 浄瑠璃雑誌	第400号	①昭和16年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	中央公論秋季特大号特輯 グラフ『文楽』評	評論	鴻池幸武		浪花名物 浄瑠璃雑誌	第404号	①昭和16年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③ (3) 竹本越路太夫と (6) 竹本土佐太夫の三段目
					鴻池幸武文楽批評集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	第四章 劇的局面論 一 時代物系の局面 (一) 身替り局面 4 近松以後の作者の取扱 へる身替り局面	研究	中村吉蔵		日本戯曲技巧論		①昭和17年7月 ④中央公論社
	近松以後名作解題 * 和田合戦女舞鶴	解説	黒木勘蔵		近松以後		①昭和17年9月 ④大東出版社 ③大東名著選42
	文楽首の研究 文楽首の分類と名称考 * 老けおやま	解説	齋藤清二郎		文楽首の研究		①昭和18年6月 ④アトリエ社 ③板額
	文楽首分類表						③浅利与市・市若丸・公暁丸・他子役・板額女・尼將軍に 用いるかしら名称・鬘・眉・塗色・備考
	操浄瑠璃に於ける「謎・ 判じ物」(中)	研究	近石泰秋		浄瑠璃雑誌	第423号	①昭和18年11月 ④浄瑠璃雑誌社
	第二篇 趣向の研究 第四章 謎・判じ物				操浄瑠璃の研究—そ の戯曲構成につい て—		①昭和36年3月 ④風間書房
	第五章 並木宗輔 附竹 田出雲		園田民雄		浄瑠璃作者の研究		①昭和19年2月 ④東京堂
	むかしの師匠たち(その 三) 三代目竹本越路太(マ マ)のこと=私の大序時 代から= * 鼻へ抜く声	芸談	(8) 竹本綱大夫		芝居手帖	第4巻 第1号	①昭和24年1月 ④誠光社 ③大正11年1月御霊文楽座所演、(3) 竹本越路太夫の「市 若初陣」
	義太夫国紳士録 * 三世竹本越路大夫師一 勘当チャンピオン				芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房
	歌舞伎百趣 99和田合戦女舞鶴(板額 門破り)	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
	私の芸談 * 若太夫を襲名して	芸談		(10) 豊竹若 太夫	幕間	第5巻 第12号	①昭和25年12月 ④幕間和敬書店

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	浄瑠璃合作者考（一）－ 並木宗輔の浄瑠璃－	研究	森修		人文研究	第1巻 第12号	①昭和25年12月カ ④大阪市立大学文学会
	浄瑠璃合作者考（二）－ 並木宗輔の浄瑠璃－					第2巻 第4号	①昭和26年4月 ④大阪市立大学文学会
	第五章 近松とその後の 作者達 － 浄瑠璃合作者考				近松と浄瑠璃		①平成2年2月 ④塙書房
	和田合戦女舞鶴	解説 梗概	鶴見誠		増補改訂 日本文学 大辞典	第7巻	①昭和26年8月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	顔 * 豊竹若太夫	評論	安藤鶴夫		舞台人		①昭和31年6月 ④読売新聞社 ③読売文庫。若太夫襲名時の「市若初陣」
	解説 * 和田合戦女舞鶴	解説	戸板康二		歌舞伎名作選	第11巻	①昭和32年1月 ④東京創元社
					名作歌舞伎全集	第3巻 丸本時代物集2	①昭和43年12月 ④東京創元新社
	1 浄瑠璃の作者と作品 全盛期の豊竹座の作者 並木宗輔 * 和田合戦女舞鶴	解説	大西重孝・吉永 孝雄		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③三村幸一＝写真
	第一篇 段の研究 第一部 時代物 第四章 二段目 第六章 四段目 第八章 端場	研究	近石泰秋		操浄瑠璃の研究－そ の戯曲構成につい て－		①昭和36年3月 ④風間書房
	第二篇 趣向の研究 第一章 趣向研究序説						
	第四章 謎・判じ物						③初出＝『浄瑠璃雑誌』第423号（昭和18年11月・浄瑠璃 雑誌社）
	関西の焦点 成駒屋と文楽	劇評	北岸佑吉		演劇界	第19巻 第10号	①昭和36年10月 ④演劇出版社 ③昭和36年8月道頓堀文楽座所演
	和田合戦女舞鶴	解説 梗概	堂本正樹		演劇百科大事典	第6巻	①昭和37年5月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
290	和田合戦女舞鶴考	研究	内山美樹子		近松論集	第3集	①昭和39年12月 ④近松の会
	第一部 「うれい」の芸術—操浄瑠璃論 第一章 「うれい」の芸術 六 「うれい」と「愁歎」	研究	近石泰秋		操浄瑠璃の研究	続編	①昭和40年5月 ④風間書房
	第十二章 茶利・落ち						
	文楽の『葛の葉』と『市若初陣』	劇評	服部幸雄		演劇界	第23巻 第8号	①昭和40年8月 ④演劇出版社 ③昭和40年7月東京三越劇場所演（短評）
	関西劇場街探点 お盆月・ヴァカンス	劇評	北岸佑吉		演劇界	第23巻 第9号	①昭和40年9月 ④演劇出版社 ③昭和40年7月朝日所演（一言）
	延享寛延期の竹本座の作品と並木宗輔	研究	内山美樹子		演劇研究	第3号	①昭和43年10月 ④早稲田大学演劇博物館
	板額	梗概	和角仁		演劇界	第27巻 第11号	①昭和44年9月 ④演劇出版社 ③9月号臨時増刊「歌舞伎狂言の鑑賞2」
	和田合戦女舞鶴	梗概	井野辺潔		演劇界	第37巻 第12号	①昭和54年10月 ④演劇出版社 ③10月号臨時増刊「歌舞伎名作案内2」
					歌舞伎名作事典		①昭和58年3月 ④演劇出版社 ③平成8年8月改訂新版
	口説の成立と形式	研究	井野辺潔		大阪音楽大学研究紀要	第21号	①昭和57年12月 ④大阪音楽大学
	第二部 構造と歴史 三、口説の成立と形式				浄瑠璃史考説		①平成3年2月 ④風間書房
290	和田合戦女舞鶴	解説 梗概	内山美樹子		日本古典文学大辞典	第6巻	①昭和60年2月 ④岩波書店
	第五章 要素的様式把握 二節 音高語法 (三) 演奏情報 【一】越前少掾	研究	山田智恵子		義太夫節の様式展開		①昭和61年11月 ④アカデミア・ミュージック ③井野辺潔・横道萬里雄・他＝著

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第五章 要素の様式把握 四節 節訛り		廣井榮子・平山 けい子				
	第五章 要素の様式把握 五節 時間語法 (二) 演奏情報 【一】越前少掾		茂手木潔子				
	第八章 太夫様式 一節 豊竹越前少掾		廣井榮子				
	第八章 太夫様式 三節 (β) 豊竹駒太夫		垣内幸夫				
	第八章 太夫様式 五節 豊竹麓太夫		横道萬里雄				
	第八章 太夫様式 六節・四 豊竹島太夫		田中悠美子				
	楽譜《和田合戦女舞鶴・ 市若切腹》より	採譜	井野辺潔				③ (10) 豊竹若太夫・(2) 野沢勝太郎＝演奏
	和田合戦女舞鶴	解説 梗概	湯川春洋・吉永 孝雄		浄瑠璃作品要説	<5>西沢一風・ 並木宗輔篇	①昭和63年3月 ④国立劇場
	和田合戦女舞鶴	解説 梗概	向井芳樹		向井芳樹著述集		①平成28年5月
	第四話 端場 * 生写朝顔話・笑葉	参考	(5) 竹本織大夫 (9) 竹本源太 夫)・高木浩志		織大夫夜話 文楽へ のいざない		①昭和63年7月 ④東方出版 ③「チャリ場」の語源
	文楽の舞台から * 和田合戦女舞鶴	写真	三村幸一・三宅 晟介＝写真		国立文楽劇場歌舞伎 公演解説書	第3回	①昭和63年9月 ④国立劇場
	女武者という“かぶき”	参考	三田純市				
	文楽のかしらシリーズ③ 「鬼若」・「妙林」	解説	吉田文雀＝解説 ／飯村隆＝撮影		国立劇場文楽公演解 説書	第89回	①平成1年9月 ④国立劇場 ③藤沢四郎
	* 鬼若				文楽のかしら		①平成18年2月 ④日本芸術文化振興会 ③古典芸能入門シリーズⅢ
	板額をめぐるドラマー 「和田合戦女舞鶴」につ いてー	考察	松崎仁		国立劇場文楽公演解 説書	第89回	①平成1年9月 ④国立劇場

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	「引窓」の人形・最高の 配役	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期 の輝き—劇評と文楽 考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成1年9月東京国立劇場小劇場所演（一言）。初出＝ 「読売新聞」平成1年9月13日
	破綻の無さに不満	劇評	富岡泰		演劇界	第47巻 第12号	①平成1年11月 ④演劇出版社 ③平成1年9月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	Ⅱ 並木宗輔 * 享保の改革と人形浄瑠 璃—「和田合戦女舞鶴」 ほか—	研究	内山美樹子		浄瑠璃史の十八世紀		①平成1年10月 ④勉誠出版
	解題 * 和田合戦女舞鶴	解題	西岡直樹		豊竹座浄瑠璃集	2	①平成2年3月 ④国書刊行会 ③叢書江戸文庫11
	並木宗輔における脚色の 独自性（三）—「和田合 戦女舞鶴」成立考	研究	案田順子		群馬県立女子大学紀 要	第10号	①平成2年3月 ④群馬県立女子大学 ③国語国文学篇。創立10周年記念号
	文楽のかしらシリーズ④② 「子役」「中子役」	解説	吉田文雀＝解説 ／飯村隆＝撮影		国立劇場文楽公演解 説書	第129回	①平成11年12月 ④日本芸術文化振興会 ③市若丸
	* 子役				文楽のかしら		①平成18年2月 ④日本芸術文化振興会 ③古典芸能入門シリーズⅢ
	二、文楽三和会 * 動かぬ足	芸談	桐竹紋寿		文楽・女方ひとすじ おつるから政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③政岡との違い
	十世豊竹若大夫、晩年の 演奏をめぐる	研究	内山美樹子		演劇研究センター紀 要	I	①平成15年3月 ④早稲田大学演劇博物館 ③早稲田大学21世紀COEプログラム〈演劇の総合的研究 と演劇学の確立〉
	* 浅利与市 * 市若	解説	川口節子		歌舞伎登場人物事典		①平成18年5月 ④白水社 ③河竹登志夫＝監修、古井戸秀夫＝編
	* 板額						③「物語」「出典・モデル」
	「和田合戦女舞鶴」の時 と人物設定	研究	内山美樹子		演劇映像学	2008 第3集	①平成21年3月 ④早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム「演 劇・映像の国際的教育研究拠点」 ③演劇博物館グローバルCOE紀要

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	「和田合戦女舞鶴」(GCOE 公開講座「浄瑠璃」)演奏 と研究会の活動一付・早 稲田大学における素浄瑠 璃の会 一九六六-二〇〇 九年	研究	内山美樹子		演劇映像学	2009 第4集	①平成22年3月 ④早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム「演 劇・映像の国際的教育研究拠点」 ③演劇博物館グローバルCOE紀要
	並木宗輔作「和田合戦女 舞鶴」の構想と『吾妻 鏡』	研究	内山美樹子		藝能史研究	第190号	①平成22年7月 ④藝能史研究会
	和田合戦女舞鶴 市若初陣の段	解説	児玉竜一		国立劇場邦楽公演解 説書	第175回	①平成27年10月 ④日本芸術文化振興会
	大序 徳島と十代豊竹若 太夫 * 十代豊竹若太夫	芸談	六代 豊竹呂太 夫・片山剛		文楽・六代豊竹呂太 夫 五感のあなたへ		①平成29年3月 ④創元社 ③(10) 豊竹若太夫の「市若丸初陣」
	大話 六代豊竹呂太夫 * 「市若初陣」に挑む						